

- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -

県民による森づくり提案事業

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、事業への反映を検討します。

平成19年度事業の実績

(1) 県民実施事業への支援

県内で活動する団体やグループ等から、自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集し、富山県水と緑の森づくり会議で採択し、支援を行ないました。

【採択状況】

・ 応募件数15件 採択件数15件

(2) アイデア提案の募集

県民から、水と緑の森づくり税を活用した県が行なう事業のアイデアを募集し、富山県水と緑の森づくり会議で審査し、平成20年度事業などへの反映を検討しました。

【応募状況等】

・ 応募件数14件 うち5件について20年度事業への反映を検討



地域で伐採した風倒木を利用してテーブルやイスを製作し、公園に設置されました。
(綾子里山再生利用の会)



被害林の整備や森林の大切さについて学ぶ森林教室を開催されました。
((財)オイスカ 富山県支部)

平成 19 年度 県民による森づくり提案事業（県民実施事業提案）一覧表

番号	事業名	実施団体名	県補助金額	参加人数
1	親子森づくり探検ツアー	あそあそ自然学校	659 千円	28 名
2	上野本の森	上野本の森を楽しむ会	1,000 千円	7 名
3	とやまの木住まいづくりセミナー等開催事業	NPO 法人 とやまの木で家をつくる会	614 千円	約 225 名
4	「風の子の森」整備 森づくりボランティア活動	財団法人 オイスカ 富山県支部	195 千円	79 名
5	ホーライサン里山再生プロジェクト	NPO 法人 森林総合支援センター	800 千円	230 名
6	富山県杉間伐材利用推進事業	富山県杉間伐材利用推進グループ	199 千円	176 名
7	飯久保山「きずなの森」づくり	十三中学校育友会	147 千円	275 名
8	飯久保山「次世代に継ぐ森」づくり	火見城発伸の会	771 千円	394 名
9	「きずなの森」の整備	湖南小学校 PTA	57 千円	44 名
10	南砺の山々を守る炭焼き	NPO 法人 南砺の山々を守る実行委員会	987 千円	314 名
11	風倒木を利用した綾子町内コミュニティづくり	綾子里山の再生利用の会	215 千円	31 名
12	南砺市細野地区内、馬向谷の歩道の復活	細野自治会	104 千円	20 名
13	2007 とやま竹フェスティバル	呉羽丘陵 森の楽校	635 千円	621 名
14	森林資源の利活用を促進する事業	夢創塾	778 千円	841 名
15	森づくりフォーラム	アースデイとやま2007にかかわ実行委員会	1,000 千円	650 名
計			8,161 千円	約 3,935 名

《 事業概要 》

1. 実施団体名	あそあそ自然学校
2. 事業名	親子森づくり探検ツアー
3. 事業目的	目的は、森の大切さを学ぶこと。この事業は、富山県内の小学生親子等を対象に参加者をチラシやメディア広報により公募し、森林環境教育に関する講師と一緒に森づくりの現場を訪ね、森の大切さについて体験を通じて学ぶ。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 親子森づくり探検ツアーの実施（1回） ② 普及PRチラシの配布（1回） ③ マスメディアによる普及啓発（1回） ----- ・参加人数：28名
5. 実施場所	富山市吉野地区
6. 事業期間	平成19年9月3・29日
7. 事業費 (県補助金)	813,330 円 (659,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞取り)	ツアー参加者や普及PRチラシを配布した小学生及び新聞広告の読者に、森の大切さを普及啓発することができた。

《 実施状況写真 》



とやまの森 見学 ①



とやまの森 見学 ②



婦負森林組合木材加工センター 見学



県産スギ材でのマイ箸づくり

《 事業概要 》

1. 実施団体名	上野本の森を楽しむ会
2. 事業名	上野本の森
3. 事業目的	間伐材を利用して林内に展望台を製作し、一般に開放することで、里山及び木の良さに触れてもらう。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	間伐材を利用した展望台を製作し、一般開放（2基） ----- ・参加人数：7名
5. 実施場所	小矢部市上野本地内
6. 事業期間	平成19年6月1日～平成20年2月15日
7. 事業費 (県補助金)	1,615,176 円 (1,000,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	展望台から荒廃した森林の状況を見た一般の方々に、木の良さや森林整備の必要性を認識してもらうことができた。

《 実施状況写真 》



着手前



完成

《 事業概要 》

1. 実施団体名	NPO 法人 とやまの木で家をつくる会
2. 事業名	とやまの木住まいづくりセミナー等開催事業
3. 事業目的	林業関係者・製材所・工務店・建築家・生活者がお互いに顔の見える関係で取り組むとやまの木を活用した家づくりの良さと必要性をPRするとともに、安心して暮らせる持続可能な地域循環社会を創り、とやまの森林に元気を取り戻し、森林と人との絆を深めることに寄与すること。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 講演会（林業・環境について）（1回） ② セミナー（家づくりに関する情報提供・現地見学会）（6回） ----- ・参加人数：約 225 名
5. 実施場所	富山市内（サンシップとやま 他）
6. 事業期間	平成 19 年 6 月 3 日、7 月 8 日～10 月 14 日
7. 事業費 (県補助金)	752,195 円 (614,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	森林の大切さやとやまの木で家を建てるのが環境負荷の低減に繋がるのが、参加者に理解された。

《 実施状況写真 》



講演会



セミナー



セミナー（森林の見学）



セミナー（住宅完成見学会）

《 事業概要 》

1. 実施団体名	財団法人 オイスカ 富山県支部
2. 事業名	「風の子の森」整備 森づくりボランティア活動
3. 事業目的	防風林の森林整備を行い、森林保全・緑化の意義を普及する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① マツクイムシ被害林の支障木の処理と植栽 (0.1ha) ② PR看板の設置 (地元間伐材を利用) (1基) ③ 森の大切さについて学ぶ森林教室 (1回) ----- ・参加人数：79名
5. 実施場所	富山市下夕林地内
6. 事業期間	平成19年10月27・28日
7. 事業費 (県補助金)	195,327 円 (195,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	活動に参加した次代の担い手である青少年に対して、森づくりの必要性を更に普及啓発することができた。

《 実施状況写真 》



支障木の処理



植栽状況



PR看板



森林教室

《 事業概要 》

1. 実施団体名	NPO 法人 森林総合支援センター
2. 事業名	ホーライサン里山再生プロジェクト
3. 事業目的	インタープリターとして地域住民が協働して、従前の里山の生態系を取り戻すべく「里山再生モデル林」の構築に取り組み、これをモデル事業として県内に普及する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 県産材による休憩小屋の整備（1棟）及び周辺の支障木伐採、間伐、枝打の実施 ② 森林内の案内看板・標識の整備（3基） ----- ・参加人数：230名
5. 実施場所	富山市婦中町吉谷地内
6. 事業期間	平成19年6月16日～平成20年2月28日
7. 事業費 (県補助金)	1,115,146 円 (800,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	「里山再生モデル林」構築の活動拠点となる小屋や森林の整備、看板の設置を行い、近隣住民と協働して取り組む基盤をつくることができた。また、この作業を通じて参加者の技術レベルを向上させるとともに、森林の大切さに対する理解を深めることができた。

《 実施状況写真 》



森林整備活動状況



子供たちによる皮はぎ体験



県産材休憩小屋建設状況



休憩小屋完成

《 事業概要 》

1. 実施団体名	富山県杉間伐材利用推進グループ
2. 事業名	富山県杉間伐材利用推進事業
3. 事業目的	地元の杉間伐材を通じた工作を通じて、子供達に自然の良さや温かみを伝えるなど、木材の利用に係る普及啓発を図る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 間伐材を利用した工作授業（12 時間） ② 親子で間伐材を利用した工作活動（2 回） ③ 工作作品の展示（1 回） ----- ・参加人数：176 名
5. 実施場所	富山市八尾町高善寺 162 番地（富山市立保内小学校） 富山市西中野町 1-16-12（富山県立近代美術館）
6. 事業期間	平成 19 年 9 月 3 日～平成 20 年 1 月 27 日
7. 事業費 (県補助金)	203,461 円 (199,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	杉間伐材を使用した工作活動と子供達の想像力豊かな作品の展示を通じて、自然素材としての木の温かみや環境の大切さを感じてもらい、とやまの森林を考えるきっかけとすることができた。

《 実施状況写真 》



製作状況 ①



製作状況 ②



作品 ①



作品 ②

《 事業概要 》

1. 実施団体名	十三中学校育友会
2. 事業名	飯久保山「きずなの森」づくり
3. 事業目的	「きずなの森」づくりを通じ、地域と学校との連携を深め、郷土や自然を愛する心情を培う。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 遊歩道整備（30m）及びイスの設置（5基） ② 動植物の観察会（3回） ----- ・参加人数：275名
5. 実施場所	氷見市飯久保地内
6. 事業期間	平成19年6月30日～平成19年11月29日
7. 事業費 (県補助金)	147,593 円 (147,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	遊歩道整備・イスの設置や動植物の観察会を通じて、「きずなの森」を憩いの場として大切に整備していきたいという気持ちや森の恵みに感謝する気持ちを生徒達に感じてもらうことができた。

《 実施状況写真 》



支障木の処理



イスの製作



遊歩道整備（完成）



動植物の観察会

《 事業概要 》

1. 実施団体名	火見城発伸の会
2. 事業名	飯久保山「次世代に継ぐ森」づくり
3. 事業目的	森林整備を行い、地域の歴史・文化に根付いた総合教育の場及び憩いの場としての里山を創る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森林整備 (0.05ha) ② 遊歩道整備 (木道 25.2m、階段 33 段) ③ 竹ドームコンサート (1 回) ----- ・参加人数：394 名
5. 実施場所	氷見市飯久保地内
6. 事業期間	平成 19 年 6 月 30 日・7 月 1 日、7 月 11 日～8 月 18 日、 10 月 1～5 日
7. 事業費 (県補助金)	961,449 円 (771,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	台風被害林の整備や付近の竹林を利用したコンサートを通じ、地域・子供たちが一体となって、地域に根差した里山創りを実施することができた。

《 実施状況写真 》



森林整備



遊歩道整備 (木道)



遊歩道整備 (階段)



竹ドームコンサート

《 事業概要 》

1. 実施団体名	湖南小学校 PTA
2. 事業名	「きずなの森」の整備
3. 事業目的	森林整備を通じて森を愛する心を育む。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	森林内の竹・支障木の伐採 (0.05ha) ----- ・参加人数：44名
5. 実施場所	氷見市神代地内
6. 事業期間	平成19年8月18日
7. 事業費 (県補助金)	57,770 円 (57,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	竹・支障木の伐採により、馴染みのある地元の森林を整備することができた。また、自然の中での作業体験を通して、参加した児童に森の大切さを伝えることができた。

《 実施状況写真 》



作業前



作業状況 ①



作業状況 ②



作業状況 ③

《 事業概要 》

1. 実施団体名	NPO 法人 南砺の山々を守る実行委員会
2. 事業名	南砺の山々を守る炭焼き
3. 事業目的	カシノナガキクイムシ被害の拡大防止と被害を受けた里山再生のため、被害木を伐採・活用とする。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① カシノナガキクイムシ被害木の伐採（75ha） ② 伐採被害木を活用した炭焼き活動（5回） ----- ・参加人数：314名
5. 実施場所	南砺市小二又・才川七地内
6. 事業期間	平成 19 年 8 月 20 日～平成 20 年 2 月 10 日
7. 事業費 (県補助金)	1,649,189 円 (987,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	カシノナガキクイムシ被害の拡大防止に貢献し、被害を受けた里山再生のため、被害木を伐採し、木炭にして活用した。

《 実施状況写真 》



被害木の伐採・集材



集材・木割り作業



窯入れ



窯出し・梱包

《 事業概要 》

1. 実施団体名	綾子里山の再生利用の会
2. 事業名	風倒木を利用した綾子町内コミュニティーづくり
3. 事業目的	町内付近の里山の風倒木の整理や、これを活用したテーブル・イスの製作及び町内の公園への設置を行い、地域コミュニティーの形成に役立てる。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 風倒木の伐採 (450m ²) ② 伐採木を活用したテーブル・イスの製作・設置 (4組) ----- ・参加人数：31名
5. 実施場所	小矢部市蓮沼・綾子地内
6. 事業期間	平成19年6月2日～7月26日
7. 事業費 (県補助金)	224,897 円 (215,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	住民協働作業による風倒木の整理とこれを活用してのテーブル・イスの製作により、里山の状況を改善し、住民の親睦を深めることができた。また、風倒木被害の状況について認識を共有し、里山について話し合うことができた。

《 実施状況写真 》



支障木の処理



製作状況



設置状況



活用状況

《 事業概要 》

1. 実施団体名	細野自治会
2. 事業名	南砺市細野地区内、馬向谷の歩道の復活
3. 事業目的	荒廃した歩道を復活し、集落後背に位置する森林の持つ多様な側面、姿を見てもらえるようにする。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	林内歩道の整備（122m） ----- ・参加人数：20名
5. 実施場所	南砺市細野地区
6. 事業期間	平成19年6月24日
7. 事業費 (県補助金)	104,217 円 (104,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	地域住民や一般来訪者が林内歩道を安全に利用し、集落後背の里山に親しむことができるようになった。

《 実施状況写真 》



着工前



完了



作業状況

《 事業概要 》

1. 実施団体名	呉羽丘陵 森の楽校
2. 事業名	2007 とやま竹フェスティバル
3. 事業目的	呉羽丘陵の竹林の伐採整備を実施し、竹林拡大を防ぐ。これにより伐り出された竹を活用して、世界級の環境運動のキャンドルナイトに併せて竹灯籠を作り、呉羽丘陵および県内の里山への状況に関心を高める。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 竹林整備 (0.25ha) ② 竹灯籠によるイベント (1回) ③ 竹についての講演会 (1回) ④ 竹のワークショップ (竹細工) (1回) ----- ・参加人数：621名
5. 実施場所	富山市吉作地内ほか
6. 事業期間	平成19年6月17日、6月22～24日、8月11日
7. 事業費 (県補助金)	780,000 円 (635,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	竹林整備・イベント・講演会により、呉羽丘陵の竹林の現状について関心を高めることができた。伐採した竹を竹灯籠にし、イベント後には竹細工の材料として再利用し、竹の利活用のあり方を示した。

《 実施状況写真 》



竹林整備



竹灯籠作成



イベント



講演会

《 事業概要 》

1. 実施団体名	夢創塾
2. 事業名	森林資源の利活用を促進する事業
3. 事業目的	間伐を体験し、併せて間伐材を活用するもの。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 杉林での間伐搬出体験（1ha） ② 間伐材による水車と水車小屋の建設 ③ 未利用間伐材を使った炭作り（2回） ----- ・参加人数：841名
5. 実施場所	朝日町蛭谷地内
6. 事業期間	平成19年6月12日～平成20年2月22日
7. 事業費 (県補助金)	1,021,300 円 (778,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	間伐作業を行い、その間伐材を使って炭焼き・水車・水車小屋づくりを行なったことで、多くの参加者に森づくりの大切さを認識してもらえた。

《 実施状況写真 》



間伐搬出状況



雑木搬出



水車・水車小屋（完成）



炭焼き

《 事業概要 》

1. 実施団体名	アースデイとやま 2007 にかわ実行委員会
2. 事業名	森づくりフォーラム
3. 事業目的	シンポジウムを開催し、森づくりに関する県民意識を醸成する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	シンポジウムの開催（1回） ----- ・参加人数：650名
5. 実施場所	魚津市宮津 110 番（新川文化ホール）
6. 事業期間	平成 19 年 12 月 14 日
7. 事業費 (県補助金)	1,274,623 円 (1,000,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞取り)	森づくりシンポジウムで大勢の集客を得、今後の新川地区での森づくり活動に期待を持つことができた。

《 実施状況写真 》



シンポジウム開催状況



森の木霊コンサート



森と遊ぼうコーナー



パネル展示

県民による森づくり提案事業(アイデア提案)一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見	
					事業への反映等	内容
オーナー制度	オーナー制度	1	森林づくりオーナー制度	森林組合が実施主体となって山林を借受け、 ① 森林づくりオーナーの募集 ② 講習会・イベントの開催を実施。	反映済	○オーナー制度は一般に森林所有者の所得の向上に繋がることから、これに代わるものとして、とやまの森づくりサポートセンターで森林所有者からの森づくり活動フィールドの登録と森林ボランティアに対する情報提供を行なっている。 ○また、とやまの森づくりサポートセンターでは、森林ボランティア活動にこれから参加される方や、現在活躍中のボランティアのみなさんの施業技術の習得・向上や安全確保を目的として、『森づくり塾』を行なっている。
		2	春は山菜 秋はキノコ 木の実(刈、とちの実)の 食材収穫	県民から森林オーナーを募集し、 ① 間伐・伐採跡地での山菜・木の実の栽培 ② 間伐・伐採木でのほだ木づくり・キノコ栽培を自ら体験する機会を提供。	反映 (里山再生整備事業)	○「里山再生整備事業」のメニューの一つである「里山活用促進事業」で取組が可能であるが、市町村の取組が遅れている。 ○このため、広く県民に里山の実りを体験してもらうモデル的な事業を検討する。
		3	間伐材 立ち枯れ材 倒木 選定した枝等 を利用した堆肥づくりと昆虫飼育	県民から森林オーナーを募集し、 ① 間伐材等のチップ化・散水による堆肥の生産 ② 小学生を対象とした昆虫飼育を自ら体験する機会を提供。	反映 (みどりの森再生事業)	○本県では、広葉樹苗の生産体制が確立しておらず、主に長野県などの県外から移入されている。 ○しかしながら、今後は、提案にあるとおり、本県の気候土壌等の自然条件にあった遺伝的特性を持つ県内の種から育成した苗による森づくりを進めることが重要となってきている。 ○このため、県内の流域ごとに採取した広葉樹の種から苗を育成することを検討する。
森林整備	苗木の生産	4	造林用広葉樹苗木生産事業	造林用の県産広葉樹苗木の生産。(生産・管理を民間業者に委託。苗木は県が買取り。)	反映 (みどりの森再生事業)	○本県では、広葉樹苗の生産体制が確立しておらず、主に長野県などの県外から移入されている。 ○しかしながら、今後は、提案にあるとおり、本県の気候土壌等の自然条件にあった遺伝的特性を持つ県内の種から育成した苗による森づくりを進めることが重要となってきている。 ○このため、県内の流域ごとに採取した広葉樹の種から苗を育成することを検討する。

県民による森づくり提案事業(アイデア提案)一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見	
					事業への反映等	内容
	里山整備	5	ふるさと美直(みなお)し事業	里山の竹林等森林整備を行なう際、県・市町村・地元の三者が、そこに生家ある人や出身者に協力を呼びかけ、手入れを行なったらどうか。 竹林の整備後は、女性・子どもを含め竹の子採取もできます。	反映 (里山再生整備事業)	○「里山再生整備事業」のメニューの一つの「県民参加の森づくり」を実施する際には、提案の内容にある地元出身者・縁故者に参加を呼びかけるよう、事業の実施主体である市町村に助言する。 ○竹林の整備や竹の子の採取だけでなく、伐採した竹材の活用について検討する。
	植林	6	異種生育競争煽型植林	真直ぐな杉を短期間で育てるために、杉と唐松を並列に植栽。(自ら実践しておられ非常に成果が上がったので、この方法で整備を進めて欲しいという趣旨です)	—	○既存の造林事業で実施可能である。
	森林調査	7	森林所有界の調査事業	森林組合に対して、森林所有界確定のために必要な測量機器類の購入を助成。	—	○県内の森林組合においては、本年度で、測量機器の整備は終了した。
県民意識の醸成	きのこ栽培	8	小学校でのしいたけ栽培	① 原木・菌と栽培方法のパンフレットを小学校に配布。 ② 児童・PTAがしいたけを栽培・販売。	反映済	○水と緑の森づくり事業の一つである「森の寺子屋開催事業」で対応している。
	ボランティア	9	森づくりスタッフの養成	サポートセンターが実施している森づくり塾の ① 開催日を休日・祝祭日に設定。 ② 内容を森林総合利用に関する幅広いものに拡充。	反映済	○平成19年度の森づくり塾の開催にあたっては、受講生の利便性を考慮し、開催日を全て土・日・祝日に行なった。 ○研修内容についても、森林整備に係る基礎知識の習得から機械を使用した実践的な内容のほか、キノコの植菌、炭焼き体験まで幅広く実施している。
		10	富山県森林保全人材育成施設建設事業	森林ボランティア等の活動拠点施設の整備。(研修場所・倉庫・宿泊施設)	—	○県では、これまで林業普及センターや森林科学館等の研修施設を整備してきた。 ○また、本年9月、富山県森林水産会館内にボランティアの活動拠点として、「ボランティア交流サロン」を設置したので、幅広く活用していただくようPRに努めていく予定である。 ○宿泊施設については、上記施設等の活用状況を見た上で検討する。

県民による森づくり提案事業(アイデア提案)一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見	
					事業への反映等	内容
利 森 林 活 資 源 用 の	資源活用	11	みんなで楽土(らくど)を拵える事業	発生資源(間伐材・落ち葉・枝等)を再利用する施設等の整備。(昆虫飼育施設・花壇)	反映 (里山再生整備事業)	○「里山再生整備事業」のメニューの一つである「里山活用促進事業」で取組が可能であるが、市町村の取組が遅れている。 ○このため、広く県民に里山の実りを体験してもらうモデル的な事業を検討する。
	林業	12	持続的な森林整備事業	林業採算性の向上のため、下記ソフト面で助成。 ① 木材安定供給体制のプランニング ② 森林情報データベースの設置・運営 ③ 森林の現況・境界調査や経営計画策定等	—	○林業採算性の向上は、「水と緑の森づくり税」を活用する事業の目的ではない。 ○但し、平成19年度から「水と緑の森づくり税」を活用し、「とやまの森づくり総合情報システム」の整備を行なっており、この中で森林情報データベースの整備は進めている。
そ の 他	調査・研究	13	広葉樹林整備の調査研究事業	森林整備のための調査・試験を短期間で行うため、県でチームの編成を。	—	○事業のアイデアではない
	土地活用	14	水(湧水)・木(ケヤキ)・土(腐葉土)・草(ワサビ)・魚(ニジマス)との共生	① 田の周囲にケヤキを植栽し、腐葉土を確保。 ② 他に、豊富な湧き水を利用してワサビ栽培・ニジマスを養殖。	—	○農地を対象としたアイデアである